

第6章 プランの着実な推進

1 プランの推進体制

チャレンジプランに掲げる突破プロジェクトや重点施策の着実な推進を図るため、知事を本部長とする「山口県活力創出本部」において、総合的な進行管理を行います。

また、住民代表をはじめ、産業界や行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア等で構成する推進組織を設置し、外部の知見を活用した成果検証と、今後の施策展開についての意見聴取を行います。

山口県版の「地方創生総合戦略」の策定後は、プランと総合戦略を一体的に推進します。

2 プランの進行管理

チャレンジプランの進行管理は、プロジェクトごとに設定した数値目標（活力指標）の達成状況や重点施策の進捗状況等を把握し、成果重視の観点から検証を行った上で、必要に応じて施策や事業の改善を図る仕組み（PDCAサイクル）により進めます。

山口県版の「地方創生総合戦略」の策定後は、プランと総合戦略を一体的に成果検証・進行管理を行います。

[県民意見の積極的な反映]

- ◇「元気創出！どこでもトーク」などにより、県民の皆様の生の声をお聞きし、県政に反映していきます。
- ◇重点施策の取組状況等に対する県民の実感度を把握するため、「県民意識調査（県政世論調査）」を実施します。

[突破プロジェクトの評価]

- ◇プロジェクトを構成する「重点施策」の進捗状況や「活力指標」の達成状況を評価します。

[活力創出本部等における取組方向の検討]

- ◇「山口県活力創出本部」において、評価内容を点検するとともに、次年度に重点的に実施すべき取組方向を明示します。
- ◇外部委員等で構成する推進組織において、今後の施策展開の方向についての意見を聴取し、施策・事業の改善につなげていきます。

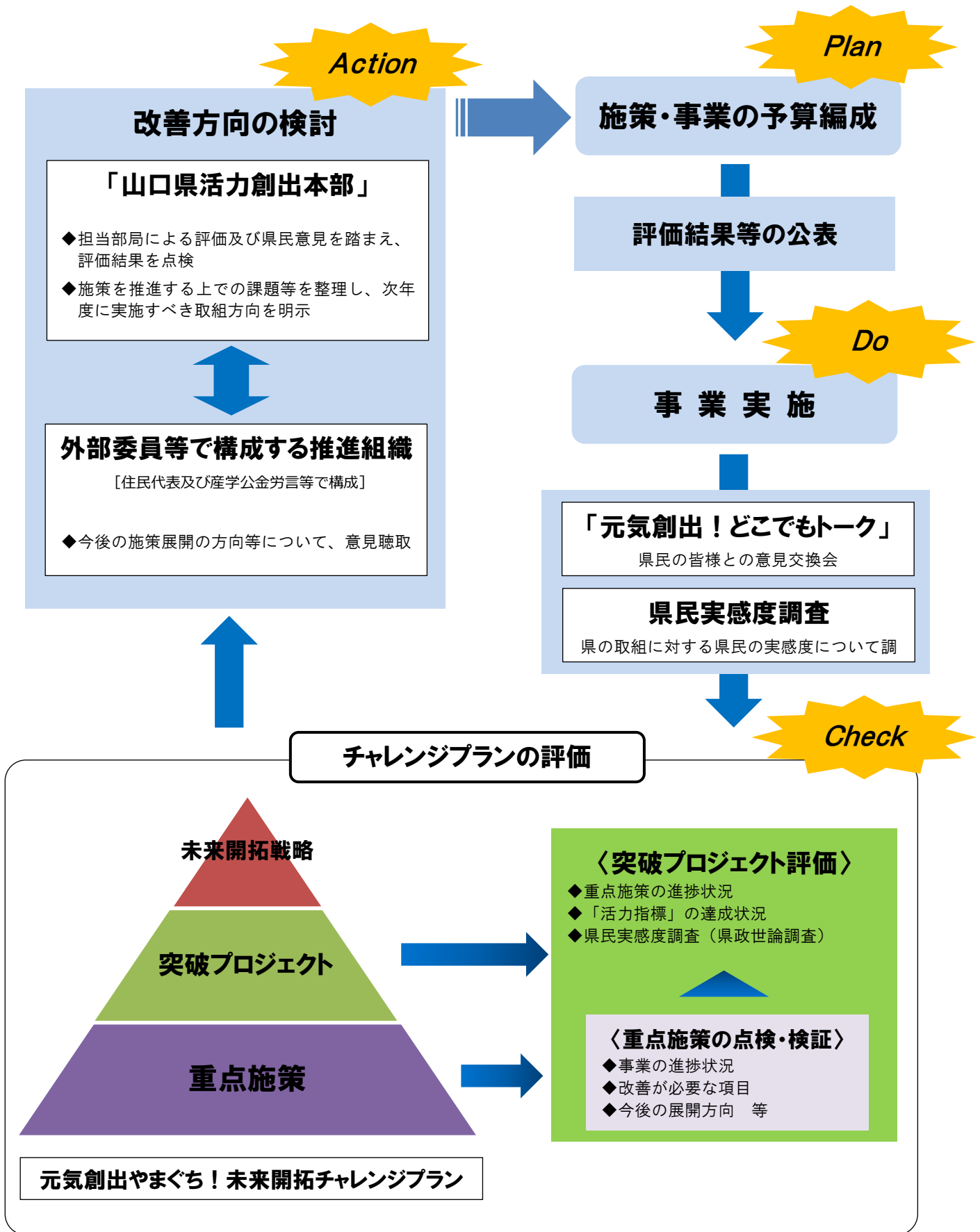
[評価結果等の公表]

- ◇プランの進捗状況や評価結果について、分かりやすく県民に公表します。

3 プランの見直し

本県を取り巻く社会経済情勢の大きな変化や国の制度改正などが生じた場合は、計画期間中においても、必要に応じてチャレンジプランの見直しを実施することとします。

チャレンジプランの進行管理



トピックス

山口県には全国に誇れるナンバーワン、オンリーワンのものがたくさんあります。

<日本一多い>

■製造品出荷額等

1事業所当たり出荷額 3,593 百万円・従業員一人当たり出荷額 75 百万円（平成 25 年）

■工業用水

供給能力 1,710,050 m³/日 契約水量 1,586,950 m³/日（平成 27 年 2 月）

■クリンカ（セメントの中間製品）（生産能力 11,175 千 t/年）

■国指定の天然記念物の数（43 件、地域指定のみ）

■ふぐ類（取扱量：全国シェア約 70%）

<日本一古い・最初・大きい・小さい…>

■日本最古のピアノ（萩市「熊谷美術館」）

萩藩御用達商家にシーボルトが贈呈したピアノが最古。

■日本最古の夏みかん（長門市）

日本の夏みかんの最初の木（1772 年頃）が現存。

■日本で最初の教会、日本で最初のクリスマス、日本の西洋音楽発祥の地（山口市）

サビエルが 1551 年に建設。翌 52 年、歌ミサが行われたのがクリスマスの最初。

宣教師たちが、日本で初めて西洋楽器を演奏したものの頃。

■おみくじの製造販売・自動販売機のルーツ（周南市）

周南市の神社が神社仏閣へ製造販売したのが最初。販売機器として開発した自動販売機も、日本初。

■床屋発祥の地（下関市）

鎌倉時代中期、藤原基晴が開いた結髪所が発祥

■日本一大きい鍾乳洞 秋芳洞（美祢市）

■日本一小さい火山 笠山（萩市）

■日本一長いアーチ型木橋 錦帯橋（岩国市）

■いよかん発祥の地（萩市）

明治 19 年に発見

■日本一ラドン含有量の多い温泉 そうづ峡温泉（岩国市）

■日本一アルカリ含有量の多い温泉 俵山温泉（長門市）

■日本最古の天満宮 防府天満宮（防府市）

菅原道真公の没後 1 年の西暦 904 年創建

■黒毛和牛の純粋な原種 見島牛（萩市）

■日本で現役最古の郵便局舎 下関南部町郵便局舎（下関市）

■日本一広いカルスト台地 秋吉台（美祢市）

■日本最初の公文書館 山口県文書館（山口市）